

Media Information

平成29年2月9日 神戸新聞

明石南高校で開催した「認知症サポーター養成講座」の様子が掲載されました。

認知症への理解深める

明石南高 講座に2年生6人

冊 推 移 石 も 万 め の 一 あ と の 年 を の 携 も 声 に



認知症の人への接し方について語り合う生徒ら
＝明石南高校

認知症について理解を深める「認知症サポーター養成講座」が8日、明石南高校（明石市明南町3）で開かれ

た。大久保在宅介護支援センターのソーシャルワーカー2人が講師を務め、選択科目「生活と福祉」を学ぶ2年生6人が受講した。講座は2日間で、初日に認知症の基礎知識を学習。この日はごみ捨ての日を間違えたり、レジで支払いに戸惑ったりしている認知症の人を例に、生徒たちが対応について意見交換した。講師は「何に困っているのか気付

き、優しくゆっくり対応して」などとアドバイスした。

受講後、全員に「認知症サポーター」を示すオレンジリングが配布された。坂田亜夢さん(17)は「自分から話しかけることが大切だと感じた。少しずつでも、できることをやっ